



**HFR** HFR Asian Hedge Fund  
Industry Report  
Hedge Fund Research [www.hedgefundresearch.com](http://www.hedgefundresearch.com)

**YEAR  
END 2008**

合作媒体 Media Partner:  **CHINA**HEDGE



Hedge Fund Research, Inc.

## 投资于亚洲的对冲基金资金同整个产业同步萎缩

### 尽管整年来看遭受损失,亚洲对冲基金在12月在产业中率先赢利 香港和新加坡成长为亚洲基金选址的首选

全球对冲基金行业分析信息领先机构Hedge Fund Research (HFR) 发布的数据表明,投资于亚洲的对冲基金的总资产在第三季度继续下滑,总量下跌160亿美金到710亿美金的水平,是整个2008年损失和赎回的延续。

投资于亚洲的对冲基金资本总量在2007年底达到历史上最高的1110亿美金,而整个业界达到历史资本最高(19,300亿美金)是2008年中期,整整早了半年。尽管在2008年下半年整个业界和投资于亚洲的基金总额下降,投资于亚洲的对冲基金下跌更为显著,投资于该区域的资产下跌了28.9%,而整个产业只下跌27.1%。

投资于亚洲发达市场和新兴市场的基金在2008年遭遇严重的业绩损失, HFRI新兴市场: 亚洲(不含日本)指数下跌了33.4%,而HFRX日本指数下跌12.2%。更宽泛的HFRI基金权重综合指数,用于衡量全球对冲基金产业,在2008年下跌了18.6%。

整个一年来看,投资于亚洲的对冲基金由于业绩下滑带来的资产流失大于投资人的赎回。但是,在第四季度,投资人赎回了86亿美金,大于业绩下滑带来的70亿的资产损失。在最近发布的亚洲对冲基金年终报告中的要点还有:

尽管发达亚洲市场的业绩下滑带来的资本损失相对较小,整个亚洲的投资区域重心在去年逐渐从日本移出;与亚洲其他区域相比,投资于日本的资金比例下跌了5%。

尽管遭遇2008年的损失,投资于新兴亚洲市场的对冲基金在过去的三年保持平均高于8%的年度赢利,显著高于同期的全球对冲基金,以及各种股票指数。

除去传统的美国和英国,中国的香港和新加坡成为亚洲对冲基金选址的首选,投资于亚洲的对冲基金有36%选择香港,20%选择新加坡作为公司总部。

高盛和摩根斯坦利仍然是亚洲对冲基金中最大的经纪商。

“尽管2008年整个年度来说亚洲对冲基金遭受损失,12月亚洲对冲基金指数显示为赢利,一些亚洲的股票市场也在2009年开始显示上扬的势头” Kenneth, Heinz, HFR的总裁说,“当投资人感觉到投资机会的来临,风险的承受能力也从最极端下降的时候,我们再一次期望亚洲对冲基金市场的领头和增长。”

享有折扣优惠认购详细报告,请电邮: [info@chinahedge.com.cn](mailto:info@chinahedge.com.cn)





Hedge Fund Research, Inc.

## アジアのヘッジファンドからの資金流出は 業界全体の不振を映し出す

アジアのヘッジファンドは通年では損失を計上したが、12月は業界トップクラスの利益を上げ、香港とシンガポールを運用拠点とするファンドが増加

ヘッジファンド業界最大手のデータ提供会社ヘッジファンド・リサーチ(HFR)が本日発表したデータによると、アジアのヘッジファンドに投資された資金総額は2008年第4四半期も引き続き落ち込み、160億ドル近く減少して710億ドル強となった。2008年の全般的傾向である損失計上と資金の流出が続いた。

アジアを主な投資対象とするヘッジファンドへの投資資産は、2007年末に1,110億ドルのピークに達したが、業界の総資産はそれから6か月後の2008年央に1兆9,300億円のピークに達している。2008年下半期には、全世界およびアジアのヘッジファンド資産が減少したが、アジアの落ち込みが特に目立っている。業界全体の資産が27.1%減であったのに対し、同地域は28.9%減少した。先進アジア諸国とエマージング・アジア諸国の両方に投資するヘッジファンドは2008年に大きな運用損失を出し、HFRIエマージング市場アジア指数(日本を除く)は33.4%、HFRXジャパン指数は12.2%それぞれ低下した。広範な市場を対象とした、世界のヘッジファンド業界の運用成績を測るHFRIファンド加重総合指数は2008年に18.6%低下した。

通年では、アジアファンドでの運用に基づく資産減少額は、投資家の資産引き出し額より多かった。しかし、第4四半期の投資家引き出し額86億ドルは、運用による資産減少額70億ドルを上回った。その他のHFR調査の要点は、先進アジア諸国での運用損は比較的小さかったが、2008年はアジア地域内で資産が日本から他の国々へと移動した。日本への投資資金は他のアジア諸国との比較で5%近く減少した。

エマージング・アジア諸国に投資するヘッジファンドは2008年に損失を出したが、過去3年間では年率8%超の利益を生み、同時期の全世界のヘッジファンドと株式市場のベンチマークをアウトパフォームしている。

米国と英国を除くと、中国とシンガポールがアジアのヘッジファンドの運用会社の拠点として選択される場所で、36%が中国に、20%がシンガポールに存在する。

ゴールドマン・サックスとモルガン・スタンレーが、引き続きアジアファンドの最大プライムブローカーである。

HFRのケネス・J・ハインツ社長は、「アジアのヘッジファンドは2008年通年では運用損失を出したが、12月には利益を計上した。また一部のアジア株式市場は新年に入り大きく上昇している」、「投資家が機会を認識し、リスク許容度が極端な水準から後退するにつれ、アジアのヘッジファンドは、再び業界をリードする成長を達成するだろう」と述べている。

